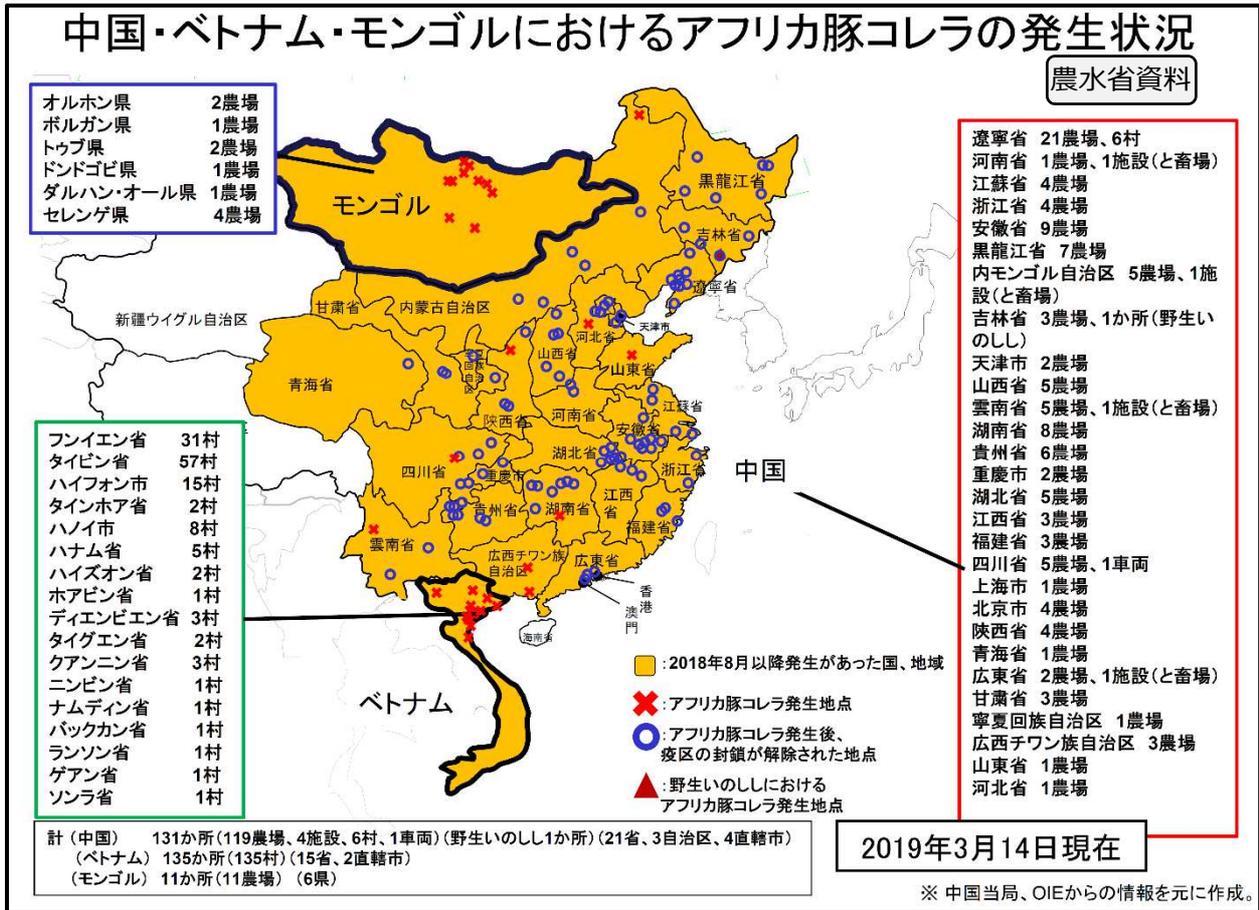


中国・モンゴルのアフリカ豚コレラ(ASF)の発生は続く。ベトナムでは発生拡大。

中国（平成 30 年 8 月～）・モンゴル（平成 31 年 1 月～）での ASF の発生はおさまらず、さらに 2 月にはベトナムでも初めて発生が確認され、瞬く間に感染が拡大しています。

昨年からの国内豚コレラ発生もきっかけは海外からの侵入（畜産物持ち込み）の可能性が指摘され、検疫での ASF 遺伝子検出事例もあり、ASF 国内侵入リスクも高いと考えられます。



岐阜県・愛知県における豚コレラ(CSF)の状況

★ 愛知県

5 府県での発生につながった豊田市での豚コレラ国内 8 例目（2/6 発生）の防疫措置は 2/12 に完了、28 日間の経過観察後、3/13 に移動制限区域等は解除されました。田原市での豚コレラ国内 9 例目（2/13 発生）の防疫措置は関連農場（9 例目が属する養豚団地及びその関連 2 農場）も含めて 2/24 に完了、28 日間の経過観察中です。

★ 岐阜県

瑞浪市での豚コレラ国内 10 例目（2/19 発生）の防疫措置は 2/23 に完了、山県市での豚コレラ国内 11 例目（3/7 発生）の防疫措置は 3/9 に完了、ともに 28 日間の経過観察中です。

★ 野生いのしし検査

捕獲・死亡した野生いのししの検査は、岐阜県では 876 頭中 216 頭（3/18 時点）、愛知県では 118 頭中 12 頭が陽性(3/12 時点)となっています。

引き続き野生いのしし・野生動物の侵入防止、飼養衛生管理を徹底し、CSF・ASF 侵入・発生防止対策をお願いします。